

お問い合わせ先一覧

●お電話でのお問い合わせ

ご連絡は、平日の午前9時から午後7時までをお願いします。

①東部支社、北部支社、西部支社、南部支社地区のお客さまは「お客さまセンター」でお電話を承ります。
また、4支社地区の営業所にお電話いただきますと「お客さまセンター」につながります。

②三重支店地区、岐阜支店地区、岡崎支店地区のお客さまのお電話は各支店・営業所で承ります。

東部支社：サービスエリア（市区町村）	電話番号	担当営業所
千種区 昭和区 名東区 天白区	052-781-6131	星ヶ丘
豊田市 藤岡町 三好町	0565-32-3070	豊田
瀬戸市 尾張旭市	0561-82-6105	瀬戸
日進市 東郷町 長久手町	052-802-1234	日進
北部支社：サービスエリア（市区町村）	電話番号	担当営業所
北区 東区 西区 守山区 師勝町 豊山町 西春町	052-902-1111	北
春日井市	0568-31-6144	春日井
小牧市 岩倉市 大山市 大口町 江南市 扶桑町	0568-73-1551	小牧
可児市 多治見市 土岐市		
西部支社：サービスエリア（市区町村）	電話番号	担当営業所
中区 中村区 中川区 港区 新川町 清洲町 西枇杷島町	052-471-1151	中村
春日町 大治町 七宝町 美和町 甚目寺町 津島市 佐織町		
蟹江町 飛島村 十四山村 木曽岬町 長島町 大安町 員弁町		
一宮市 木曽川町 稲沢市 平和町 祖父江町 尾西市 羽島市	0586-73-0101	一宮
南部支社：サービスエリア（市区町村）	電話番号	担当営業所
瑞穂区 南区 熟田区 緑区 豊明市	052-821-7141	笠寺
刈谷市 知立市 安城市 西尾市 蒲郡市 高浜市 碧南市	0566-21-1647	刈谷
半田市 武豊町 阿久比町 東浦町 常滑市	0569-21-1526	半田
東海市 知多市 大府市	0562-32-2101	東海
三重支店地区：サービスエリア（市区町村）	電話番号	担当営業所
四日市市 桑名市 鈴鹿市 朝日町 川越町	0593-53-9151	四日市
津市 久居市 安濃町 河芸町	059-228-7161	津
伊勢市 御園町	0596-28-9101	伊勢
松阪市 嬉野町 三雲町	0598-51-5518	松阪
岐阜支店地区：サービスエリア（市区町村）	電話番号	支店・営業所
岐阜市 笠松町 柳津町 岐南町 北方町 糸貫町 真正町	058-272-8001	岐阜
穂積町 大野町 高富町	0583-84-0588	各務原
岡崎支店地区：サービスエリア（市区町村）	電話番号	支店
岡崎市 音羽町 幸田町	0564-21-2231	岡崎

●FAXでのお問い合わせ

①東部支社、北部支社、西部支社、南部支社地区

お客さまセンター FAX(052) 847-1940

②三重支店地区 四日市営業所 FAX(0593) 52-3150

津営業所 FAX(059) 228-7176

伊勢営業所 FAX(0596) 28-8176

松阪営業所 FAX(0598) 51-8344

③岐阜支店地区 岐阜支店 FAX(058) 276-3845

各務原営業所 FAX(0583) 70-0466

④岡崎支店地区 岡崎支店 FAX(0564) 21-3635

※電話番号については、平成15年3月1日現在のものです。ご通知なしで変更する場合がありますので、ご了承ください。

販売店名

製造者

ホーチキ株式会社

〒141-8660 東京都品川区上大崎2丁目10番43号 ☎03(3444)4111

(平成15年3月現在)

2100

全燃焼効率100%を実現しています

2003.01

2-8-000-0135-152

空気より軽い12A・13Aガス用

TOHO GAS

お客様用

(財)日本ガス機器検査協会検査合格品
日本消防検定協会鑑定合格品

形式名 SS-GDE (TH)

HF-W型

(家庭用)
**複合型火災・
都市ガス警報器**
(不完全燃焼警報機能付)

取扱説明書

保証書付

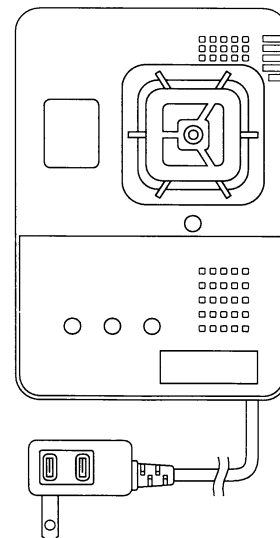
●複合型火災・都市ガス警報器(不完全燃焼警報機能付)をお取付けいただきありがとうございました。

●この取扱説明書は複合型火災・都市ガス警報器(不完全燃焼警報機能付)の取扱方法を説明します。

●お使いになる前に、この取扱説明書を必ず読んで、内容を理解した上で取扱ってください。

●本取扱説明書は、取付け後も保証書とともにお手元に保管し、いつでも使用できるようにしておいてください。

●本書を紛失された場合は、販売店またはもよりの東邦ガスにお問合せください。



■ 1. 警報器をご使用になる皆様へ	1
■ 2. 対象ガス	2
■ 3. 各部の名称と働き	2
お客様用	
■ 4. 主な特長	4
■ 5. ご使用上の注意	6
■ 6. 予備コンセントの使用方法	8
■ 7. 使用 方 法	9
■ 警報ランプと音声警報音	10
■ 8. 「ピーピー火災警報器が作動しました 確認してください」と火災警報を発している場合の処置 (火災警報ランプ) [赤ランプ] 点灯)	11
■ 9. 「ピーピー火事です 火事です」と火災警報を発している場合の処置 (火災警報ランプ) [赤ランプ] と黄ランプの同時点灯)	12
■ 10. ガスもれ警報ランプ [赤ランプ] または黄ランプが点滅している場合の処置	12
■ 11. 「ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか」とガスもれ警報を発している場合の処置 (ガスもれ警報ランプ) [赤ランプ] 点灯)	13
■ 12. 「ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」と不完全燃焼警報を発している場合の処置 (黄ランプ) 点灯)	15
■ 13. ガスもれ音声警報と不完全燃焼を知らせる音声警報を交互に発している場合の処置 (ガスもれ警報ランプ) [赤ランプ] と黄ランプの同時点灯)	17
■ 14. 「ピーピー火事です 火事です」と火災警報を発している場合の処置 (警報ランプ 赤 赤 黄の同時点灯)	19
■ 15. 火災ガスもれ不完全燃焼 (CO) 以外でもランプが点滅したり警報が鳴る場合	20
■ 外部機器連動対応表	22
■ 16. 警報器のお手入れ方法	23
■ 17. アフターサービス	24
■ 18. 仕 様	25

施工される方及び警報器をご使用になる皆様へ

■ 施工される方へのお願い	26
■ 19. 設置前のご注意	27
■ 警報器の確認	27
■ 警報器裏面にある切替スイッチの確認	27
■ 20. 取付け位置の確認	28
■ 21. 取付方法	31
■ 22. 作動点検	34
■ 外部装置と接続する場合の注意点及び点検方法	40
■ お客様へのご説明内容	41
■ お客様への周知事項	41

■ 1. 警報器をご使用になる皆様へ

警報器を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書には、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定されることを表しています。
	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。
	一般的な禁止
	火気厳禁
	触れるな
	分解禁止
	必ず行う

■ 2. 対象ガス

⚠ 注意

- この警報器は都市ガス（空気より軽い12A・13Aガス）専用の警報器です。
- 都市ガス（空気より軽い12A・13Aガス）供給区域外ではお使いにならないでください。

■ 3. 各部の名称と働き

① 電源ランプ（緑）

- 電源を入れてから約1分間、緑ランプが点滅します。（警報器の安定時間）
- 通常は緑ランプが点灯しています。

② ガスもれ警報ランプ（赤）

- 都市ガスを検知すると赤ランプが点滅します。（1段目の注意報）
- 都市ガスが規定濃度以上になると、赤ランプが点灯します。（2段目の警報）

③ 不完全燃焼警報ランプ（CO警報ランプ）（黄）

- 不完全燃焼ガスを検知すると、黄ランプが点滅します。（低濃度の注意報）
- 不完全燃焼ガスが規定濃度以上になると黄ランプが点灯します。（高濃度の警報）

④ 火災警報ランプ（赤）

- 火災による熱が継続すると、赤ランプが点灯します。

⑤ 警報スピーカ（音声合成音）

- 購入時は音声設定となっています。（ブザー設定を要望される場合は東邦ガス販売員に申してください。）

- 都市ガスのガスもれ警報時には（ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか）が鳴ります。

- ※ 切替スイッチにより、ブザー設定した場合（ピッピッピッピッ）のみの警報が鳴ります。

- 不完全燃焼警報時には（ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です窓を開けて換気してください）が鳴ります。

- ※ 切替スイッチにより、ブザー設定した場合（ピッポッピッポッ）のみの警報が鳴ります。

- 火災警報時には（ピーピー火災警報器が作動しました 確認してください）が鳴ります。

- ※ 切替スイッチにより、ブザー設定した場合（ピーピー）のみの警報が鳴ります。

- 火災警報と不完全燃焼の複合警報時には（ピーピー 火事です 火事です）が鳴ります。

- ※ 切替スイッチにより、ブザー設定した場合（ピーピー）のみの警報が鳴ります。

⑥ ガス検知部（都市ガス、不完全燃焼ガス）

⑦ 火災感知部（熱感知）

⑧ 電源プラグ

- 予備コンセントは最大990Wまでの電気器具を使用できます。

⑨ 電源コード

- 長さ2.5m（約2.2mはケース背面に巻取可能）

⑩ 有効期限表示ラベル

⑪ 検査合格証

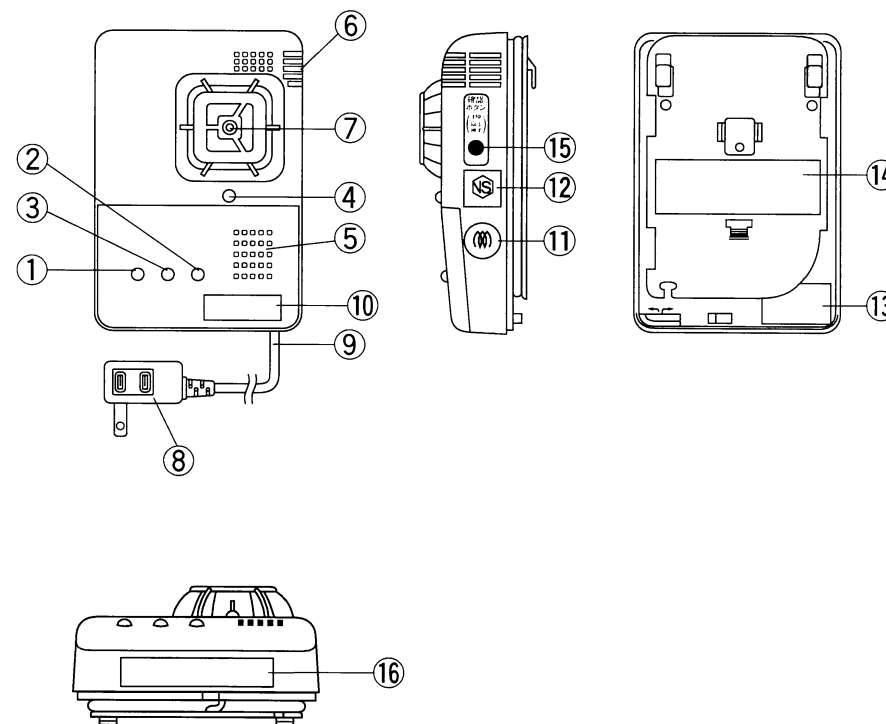
⑫ 鑑定合格証票

⑬ 保護シール（移報用コネクタ）

⑭ 製造ラベル

⑮ 音声確認ボタン

⑯ 注意銘板



■ 4. 主な特長

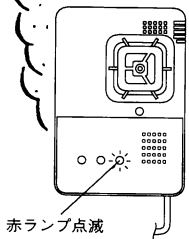
■ ガスもれ・不完全燃焼警報機能

● 都市ガスがもれた場合

警報器周囲の都市ガス濃度が規定濃度以上になると、右のように2段階に分けて作動します。

1 段階（注意報）

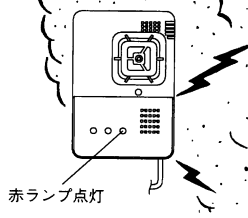
赤ランプの点滅



赤ランプ点滅

2 段階（警報）

赤ランプ点灯とガスもれ警報音「ピピピピピピッ ガスがもれていませんか」（音声合成音）



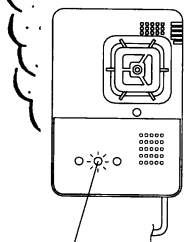
赤ランプ点灯

● ガス機器の不完全燃焼が発生した場合

警報器周囲の一酸化炭素（CO）濃度が規定濃度以上になると、右のように2段階に分けて作動します。

低濃度（注意報）

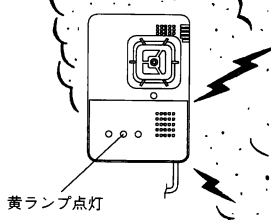
黄ランプの点滅



黄ランプ点滅

高濃度（警報）

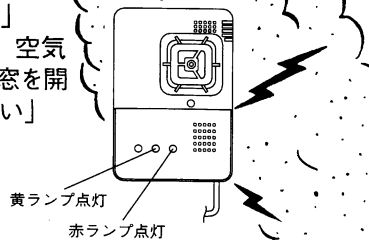
黄ランプ点灯と不完全燃焼警報音「ビッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」（音声合成音）



黄ランプ点灯

● 都市ガスがもれて同時にガス機器の不完全燃焼が発生した場合

赤ランプおよび黄ランプ点灯と交互に警報音声「ピピピピピピッ ガスがもれていませんか」「ビッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」（音声合成音）



黄ランプ点灯

赤ランプ点灯

■ ガスもれ・不完全燃焼警報連動機器との接続

- 住宅情報盤などを接続して、離れた場所に警報することもできます。ただし、専用品（別売品）をご使用ください。
- 戸外ブザーや集中監視盤などを接続して、離れた場所に警報することもできます。ただし、戸外ブザーは専用品（別売品）をご使用ください。
- マイコンメーターに接続しますと、警報を発した時、自動的にマイコンメーターが作動してガスを止めます。ただし別売りの部品（警報器アダプター）が必要になります。

■ 火災警報機能

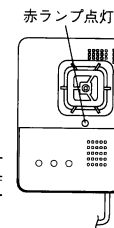
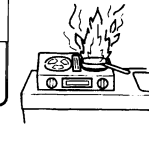
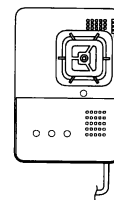
● 火災による熱が発生した場合

警報器周囲の温度が約65℃以上になると、右のように作動します。

約1秒遅延後

警報遅延

→ 本警報

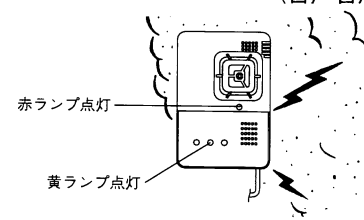


赤ランプ点灯

赤ランプ点灯と火災警報音「ピーピー 火災警報器が作動しました 確認してください」（音声合成音）

● 火災による熱と同時に不完全燃焼ガスが発生した場合

● 赤ランプおよび黄ランプ点灯と警報音声「ピーピー 火事です 火事です」（音声合成音）



赤ランプ点灯

黄ランプ点灯



- 住宅情報盤などを接続して、離れた場所に警報することもできます。ただし、専用品（別売品）をご使用ください。
- マイコンメーターに接続しますと、警報を発した時、自動的にマイコンメーターが作動してガスを止めます。

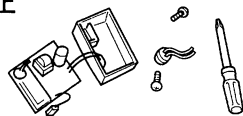
■ 5. ご使用上の注意

⚠ 警告

- 警報器は絶対に分解改造しないでください。また、警報器を落下させたり衝撃を与えるような取扱いはいしないでください。
(故障の原因となります。)



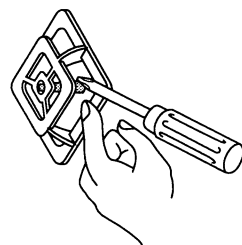
分解禁止



- 火災感知部のガードの中にある火災センサにはさわらないでください。
(火災を検知しなくなる恐れがあります。)



禁止

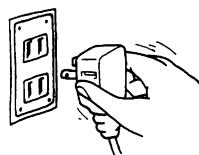


⚠ 注意

- 警報器の電源プラグは常に通電している専用コンセントに接続し、電源プラグを抜かないでください。(火災が発生していても、またガスもれ、不完全燃焼していても警報を発しません。)



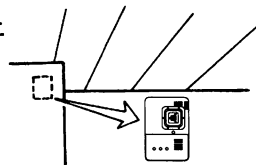
禁止



- 警報器は取付位置を移動させないでください。また、警報器の前に物を置いたり、取付けたりしないでください。警報器の位置を変える必要が生じた場合は、販売店またはもよりの東邦ガスに依頼してください。(警報の遅れの原因となります。)



移動禁止



- ぬれた手でプラグおよび予備コンセント部分にさわらないでください。
(感電する恐れがあります。)



ぬれた手でさわらない

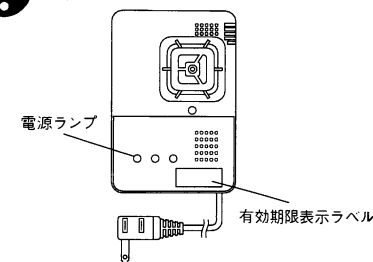


⚠ 注意

- 日常、電源ランプ（緑）が点灯していることをお確かめください。
- 警報器の有効期限を過ぎていないか、確認してください。警報器本体に有効期限の表示ラベルが貼ってあります。有効期限は、お取付け後5年間です。期限を過ぎたものは規定の警報ガス濃度で警報を発しないなど誤作動の恐れがあります。



確かめる



⚠ 注意

- この警報器は、お取付けいただいた場所近くでのガスもれや一酸化炭素（CO）には警報を発してお知らせしますが、他の部屋などで発生したガスもれや一酸化炭素（CO）では警報を発しないことがあります。
- この警報器は熱を感知して警報を発するものです。火災の防止装置ではありません。
- 警報器を取付けていない部屋は、火災の監視はできません。
- 浴室、屋外では使用できません。

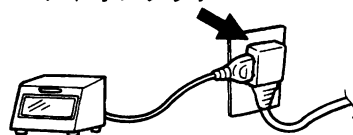
- ※ 停電時は作動しません。また、はじめてお使いの場合や、停電後は電源を通じてから約1分間は作動しません。なお約1分後に赤のランプが点滅する場合がありますが、しばらくすると緑ランプ点灯に変わります。
- ※ 殺虫剤、化粧品などのスプレーを警報器の近くで使用すると、警報音が鳴る場合がありますが、しばらくすると鳴りやみます。
- ※ 警報器は多少暖かくなりますが、異常ではありません。(通電によりセンサー部を加熱して使用するため。)
- ※ 業務用等で使用される大鍋で湯を沸かす際、点火初期時にCOが発生し、CO警報を発する場合がありますので、換気扇を回して使用してください。
- ※ 調理や、空調の熱により警報音が鳴る場合があります。

■ 6. 予備コンセントの使用手法

⚠ 注意

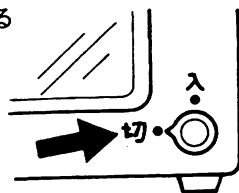
● 警報器以外の電気製品を同時にご使用になる場合は、警報器のプラグは抜かずに、警報器のプラグに付属している予備コンセント（アドオンプラグ）をご利用ください。
ただし、接続できる電気製品は990W以下です。990Wを超えると火災発生の恐れがあります。

❗ 必ず守る
アドオンプラグ



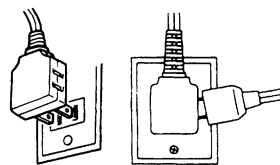
● 警報器のプラグに付属している予備コンセント（アドオンプラグ）を使用するときは、接続する電気製品の電源スイッチを必ず「切（OFF）」にしてください。

❗ 確かめる

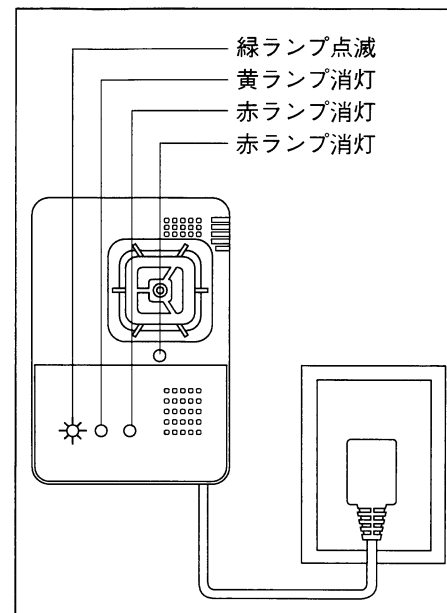


● 警報器のプラグ、他の電気製品のプラグは確実に接続してください。プラグがコンセントに確実に接続されていないと、プラグ部分が加熱し、焼損する場合があります。

⊘ 禁止

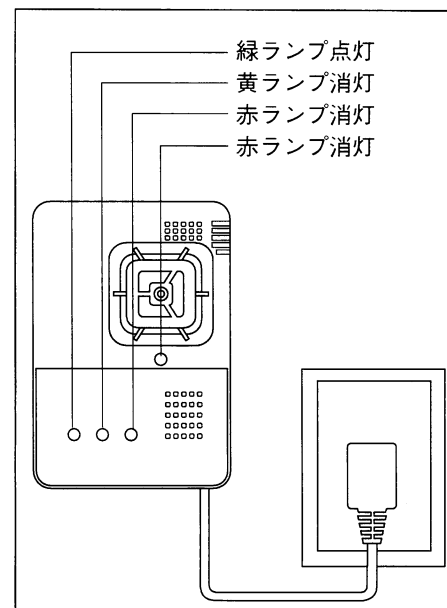


■ 7. 使用方法



① 警報器の電源プラグをコンセントに差し込んでください。

警報器の動作
緑ランプが点滅します。



② 約1分間お待ちください。

警報器の動作
約1分間は緑ランプが点滅しています。この間にガスがかかっても本体は作動しません。



約1分間後に緑ランプが点灯し、監視状態に入ります。

緑ランプの点滅が止まらない場合は、警報器の故障が考えられますので販売店またはもよりの東邦ガスまでご連絡ください。

〔赤ランプが点滅する場合がありますが、しばらくすると消灯します。〕

■警報ランプと音声警報音

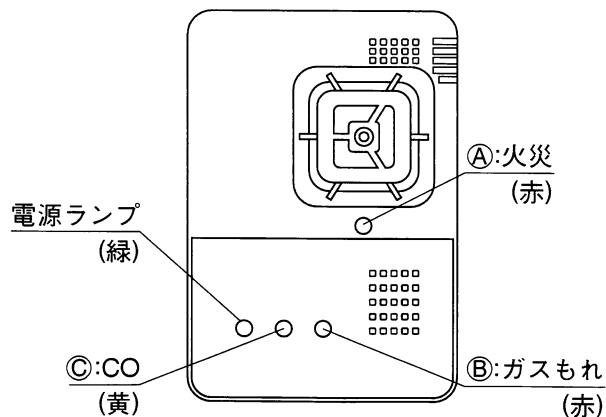
	警報状態			警報ランプ	警 報 音
	火災	ガスもれ	CO		
単一検知	○			(A)	ピーピー火災警報器が作動しました 確認してください
		○		(B)	ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか ※1
			○	(C)	ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください ※2
複合検知	○	○		(A)(B)	ピーピー火災警報器が作動しました 確認してください (火災警報優先)
	○		○	(A)(C)	ピーピー火事です 火事です (火災警報優先)
		○	○	(B)(C)	※1と※2を交互に発声
	○	○	○	(A)(B)(C)	ピーピー火事です 火事です (火災警報優先)

- ・警報ランプはそれぞれ独立して点滅又は点灯します。
 - ・警報音は火災警報を優先しています。
 - ・火災警報とCO警報の複合検知時は、緊急度の高い音声としました。
 - ・警報音は切替スイッチにより、音声、ブザー音の切替が可能です。
- ブザー音にした場合、以下の警報音が鳴ります。

火 災：ピーピーピーピー…

ガスもれ：ピッピッピッピッピッピッ…

C O :ピッポッピッポッピッポッ…



■ 8. 「ピーピー火災警報器が作動しました 確認してください」と火災警報を発している場合の処置 (火災警報ランプ〔赤ランプ〕点灯)

● 次の処置をしてください。

1. 火元の確認をしてください。

! 確認する



2. 必要な消火手段をとってください。

! 連絡する
消火する

● 119番への通報
● 初期消火

! 閉める

天ぷら油から炎が出ている場合は、ガスメータ近くのメーターガス栓を閉めてください。



3. 避難してください。

! 避難する



※ 外部機器と連動している場合は、P22外部機器連動対応表をご参照ください。

■火災以外の熱で警報器が作動した場合の注意

● 火災以外の熱などで火災警報を発している場合は、ガス漏れ警報ランプ（赤ランプ）の点灯、点滅の有無を確認してください。

! 確認する

● ガス漏れ警報ランプ（赤ランプ）が点灯又は点滅している場合は、P13、P14の処理を行ってください。

! 処置する

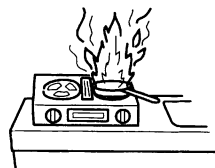
※ 火災警報を発している場合は、音声は火災警報が優先される為、音声によるガス漏れ及び不完全燃焼警報は発しません。

■ 9. 「ピーピー火事です 火事です」と 火災警報を発している場合の処置 (火災警報ランプ〔赤ランプ〕と黄ランプの同時点灯)

● 次の処置をしてください。

1. 火元の確認をして
ください。

❗ 確認する



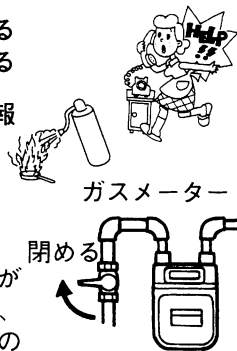
2. 必要な消火手段をとってください。

❗ 連絡する
消火する

● 119番への通報
● 初期消火

❗ 閉める

天ぷら油から炎が
出ている場合は、
ガスメーター近くの
メーターガス栓を閉めてください。



3. 避難して
ください。

❗ 避難する



※ 外部機器と連動している場合は、P22外部機器連動対応表をご参照ください。

■ 10. ガスもれ警報ランプ〔赤ランプ〕または 黄ランプが点滅している場合の処置

■ ガスもれ警報ランプ（赤ランプ）または、不完全燃焼警報ランプ（CO警報ランプ）
（黄ランプ）が点滅している場合の処置

● 次の処置をしてください。

ドアや窓を開けて換気してください。

❗ 開ける



室内の空気が汚れた場合にも、赤と黄
のランプが点滅する場合があります。

※ 外部機器と連動している場合
外部機器は作動しません。
(警報音を発していない場合)

■ 11. 「ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか」 とガスもれ警報を発している場合の処置 (ガスもれ警報ランプ〔赤ランプ〕点灯)

■ 部屋にいた場合で、警報音が鳴り始めたとき

⚠ 危険

火花などによる爆発の恐れがあります。
警報音が鳴っている間は、次のことは絶対しないでください。

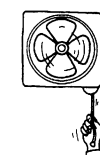
マッチやライターなど
火気は使用しないでくだ
さい。

❗ 火気厳禁



換気扇、電灯、蛍光灯その
他の電気製品のスイッチを
入れたり、切ったりしな
いでください。

❗ 禁止

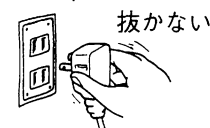


換気扇の
スイッチ等

警報器のプラグをコンセント
から抜かないでください。

❗ 禁止

コンセント



● 次の処置をしてください。

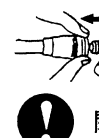
1. ドアや窓を開けて換気してください。

❗ 開ける



2. ガス栓、器具栓を閉めてください。

ゴム管接続の場合 ガスコード接続の場合



❗ 閉める

コンセント継
手のすべりリ
ング(白色)
を手前に引く

3. 警報音が鳴りやまなければ販売店また
はもよりの東邦ガスへご連絡ください。

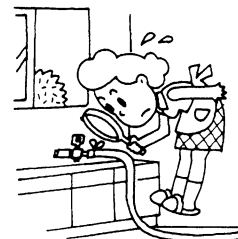
❗ 連絡する



4. ガスがなくなれば警報音は自動的に止まりま
すので、止まってからガスもれの原因を点検し
てください。

ガスもれの原因として、煮こぼれ、ゴム管のは
ずれ、ゴム管の亀裂、ガス器具の立ち消えなど
が考えられます。

❗ 調べる



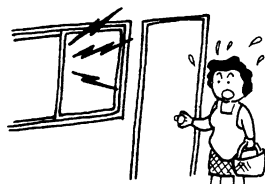
● たびたび警報が鳴る場合は、ガス機器
の点検を受けてください。

■部屋にいなかった場合で、室内で警報音が鳴っているのに気づいた場合

⚠ 危険

- もれたガスの濃度が濃くなっている場合が考えられますので、すぐには部屋に入らず、外からドアをあける、メーターガス栓を閉めるなどし、警報音が鳴りやんでから部屋に入り、ガス栓、器具栓を閉めるなどの処置をしてください。

⊘ すぐの入室禁止



- 次の処置をしてください。

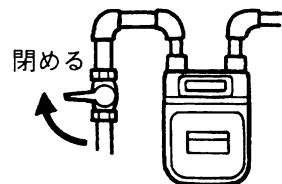
1. 部屋に入らずに、室外からドアや窓をあけられる場合は、あけ放して換気してください。

⚠ 外から開ける



2. ガスメーター近くのメーターガス栓を閉めてください。

⚠ 閉める ガスメーター

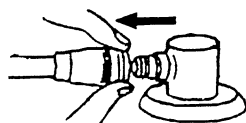


3. 警報音が鳴りやんでから部屋に入り、ガス栓、器具栓を閉めるなどの処置をしてください。

⚠ 閉める ゴム管接続の場合



ガスコード接続の場合



コンセント継手のすべりリング(白色)を手前に引く

※ 外部機器と連動している場合は、P22外部機器連動対応表をご参照ください。

■もれたガスがなくなった場合

- ガスがなくなると、警報音が鳴りやみ、赤のランプが消灯し、緑ランプのみの点灯となります。

■ 12. 「ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」と不完全燃焼警報を発している場合の処置 (黄ランプ点灯)

■部屋にいた場合で、警報音が鳴り始めたとき

⚠ 危険

- 警報音が鳴り始めたらすぐに換気をし、使用中のガス機器を止めてください。
- 換気をせずにガス機器を使用しつづけると、一酸化炭素 (CO) 濃度が上昇し短時間で生命に危険な状態になる恐れがあります。

- 次の処置をしてください。

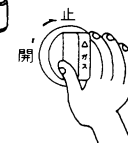
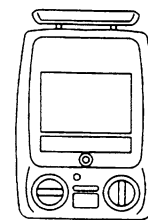
1. ドアや窓をあけて換気してください。

⚠ 開ける



2. ガス機器の使用を止めてください。

⚠ 止める



3. 警報音が鳴りやまなければ販売店またはもよりの東邦ガスへご連絡ください。

⚠ 連絡する



- たびたび警報が鳴る場合は、ガス機器の点検を受けてください。
- ガス機器以外の燃焼機器が原因で鳴る場合もありますのでこれらの機器も点検を受けてください。

■部屋にいなかった場合で、室内で警報音が鳴っているのに気づいた場合

⚠ 危険

- 一酸化炭素（CO）濃度が濃くなっている場合が考えられますので、すぐには部屋に入らず、外からドアや窓をあける、メーターガス栓を閉めるなどし、警報音が鳴りやんでから部屋に入り、ガス栓、器具栓を閉めるなどの処置をしてください。

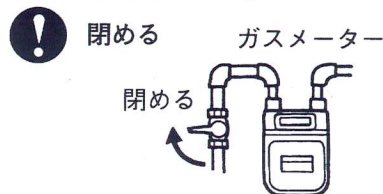
● 次の処置をしてください。

1. 部屋に入らず、室外からドアや窓をあけられる場合は、あけ放して換気してください。

⚠ 外から開ける



2. ガスメーター近くのメーターガス栓を閉めてください。



3. 警報音が鳴りやんでから部屋に入り、ガス栓、器具栓を閉めるなどの処置をしてください。

⚠ 閉める

ゴム管接続の場合



ガスコード接続の場合



※ 外部機器と連動している場合は、P22外部機器連動対応表をご参照ください。

■不完全燃焼ガスがなくなった場合

- ガスがなくなると、警報音が鳴りやみ、黄のランプが消灯し、緑ランプのみの点灯となります。

■13.ガスもれの音声警報と不完全燃焼を知らせる音声警報を交互に発している場合の処置 (ガスもれ警報ランプ〔赤ランプ〕と黄ランプの同時点灯)

■部屋にいた場合で、警報音が鳴り始めたとき

⚠ 危険

火花などによる爆発または一酸化炭素（CO）中毒を起こす恐れがあります。警報音が鳴っている間は、次のことは絶対にしないでください。

マッチやライターなど火気は使用しないでください。



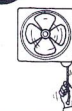
火気厳禁



換気扇、電灯、蛍光灯その他の電気製品のスイッチを入れたり切ったりしないでください。



禁止



換気扇のスイッチ等

警報器のプラグをコンセントから抜かないでください。



禁止

コンセント



抜かない

● 次の処置をしてください。

1. ドアや窓をあけて換気してください。

⚠ 開ける



2. ガス機器の使用を止めてください。ガス栓、器具栓を閉めてください。

ゴム管接続の場合



ガスコード接続の場合



⚠ 閉める

コンセント継手のすべりリング（白色）を手前に引く

3. 警報音が鳴りやまなければ販売店またはもよりの東邦ガスへご連絡ください。

⚠ 連絡する



4. もれたガスや不完全燃焼ガスがなくなれば警報音は自動的に止まりますので、止まってから警報が鳴る原因を点検してください。ガスもれの原因として、煮こぼれ、ゴム管のはずれ、ゴム管の亀裂、ガス器具の立ち消えなどが考えられます。

⚠ 調べる



● たびたび警報が鳴る場合は、ガス機器の点検を受けてください。

※ 外部機器と連動している場合は、P22外部機器連動対応表をご参照ください。

■部屋にいなかった場合で、室内で警報音が鳴っているのに気づいた場合

⚠ 危険

- もれたガスの濃度が濃くなっている場合または、一酸化炭素（CO）濃度が濃くなっている場合と考えられますので、すぐには部屋に入らず、外からドアや窓をあける、メーターガス栓を閉めるなどし、警報音が鳴りやんでから部屋に入り、ガス栓、器具栓を閉めるなどの処置をしてください。

● 次の処置をしてください。

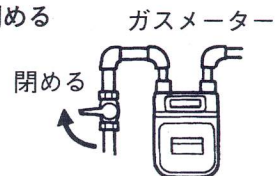
1. 部屋に入らず、室外からドアや窓をあけられる場合は、あけ放して換気してください。

❗ 外から開ける



2. ガスメーター近くのメーターガス栓を閉めてください。

❗ 閉める



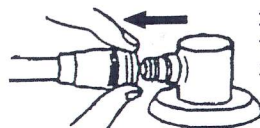
3. 警報音が鳴りやんでから部屋に入り、ガス栓、器具栓を閉めるなどの処置をしてください。

❗ 閉める

ゴム管接続の場合



ガスコード接続の場合



コンセント継手のすべりリング（白色）を手前に引く

※ 外部機器と連動している場合は、P22外部機器連動対応表をご参照ください。

■ガスがなくなった場合

- ガスがなくなると、警報音が鳴りやみ、赤、黄のランプが消灯し、緑ランプのみの点灯となります。

■ 14. 「ピーピー火事です 火事です」と火災警報を発している場合の処置（警報ランプ 赤 赤 黄 の同時点灯）

● 次の処置をしてください。

1. 火元の確認をしてください。

❗ 確認する



2. 必要な消火手段をとってください。

❗ 連絡する
消火する

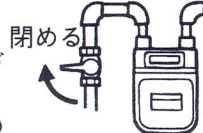
- 119番への通報
- 初期消火

❗ 閉める

天ぷら油から炎が出ている場合は、ガスメーター近くのメーターガス栓を閉めてください。



ガスメーター



3. 避難してください。

❗ 避難する



※ 外部機器と連動している場合は、P22外部機器連動対応表をご参照ください。

■ 15. 火災、ガスもれ、不完全燃焼(CO)以外でもランプが点滅したり警報が鳴る場合

■火災以外の熱で警報器が作動する場合があります。

- ・調理中の熱がこもった場合。
- ・エアコン等の空調機器の熱が直接警報器に当たった場合。

お願い

火災以外の熱などにより警報音が鳴ることがありますが、警報器周辺の温度が下がれば鳴りやみますので警報器の電源プラグは抜かないでください。

■ガスもれや不完全燃焼(CO)以外で空気がよごれた場合にも、赤ランプまたは、黄ランプが点滅する場合があります。

原因としては次のようなことが考えられます。

- ・料理に使うお酒やみりん、ワインなどの蒸気がたまったとき。
- ・湯沸器を使用中、換気が十分でなかったとき。
- ・ガスコンロの着火ミスがあったとき。
- ・殺虫剤スプレー、ヘアスプレー、化粧品スプレーなどを使用したとき。
- ・塗料、シンナー、ベンジン、アルコール系消毒液などを使用したとき。
- ・整髪料、除光液などを使用したとき。
- ・フローリングのワックス、溶剤を含む接着剤など使用したとき。
- ・自動車の排ガスが室内にこもった場合。
- ・炭火や練炭を使用したとき。
- ・その他、石油系溶剤が含まれるもの、ガスを使用した噴霧剤が含まれるものを使用したとき。
- ・石油ストーブの点火時、消火時。

このような場合は、ドアや窓を開けて、しばらく換気続けると、ランプの点滅は止まります。

ドアや窓を開けて換気してください。

❗ 開ける



■故障表示について

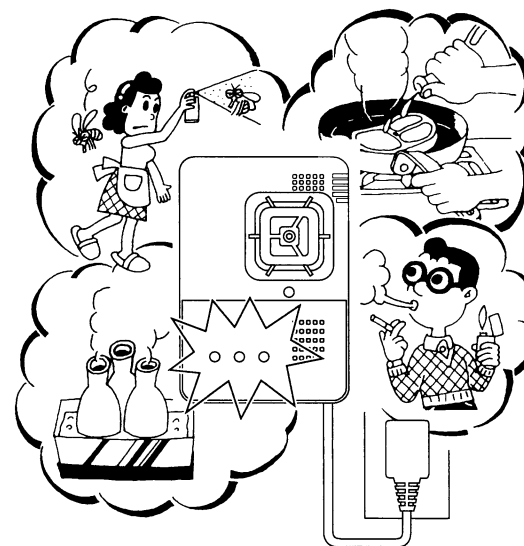
- ・本警報器の機能に異常がある場合には、緑ランプが早く点滅します。
1分以上止まらない場合は、販売店またはもよりの東邦ガスにご連絡ください。
P37をご参照の上本体側面にある「音声確認ボタン」による動作確認を行ってください。

■火災以外の熱や殺虫剤などで警報器が作動した場合の注意

お願い

火災以外の熱やガスもれ以外でも次のような場合、警報音が鳴ることがありますが、鳴りやみますので警報器の電源プラグは抜かないでください。

- スプレー式殺虫剤、ヘアスプレーなどが直接警報器にかかった場合。
- 濃厚なたばこの煙を警報器にふきかけた場合。
- 溶剤、シンナー、ベンジンなどを大量に使用した場合、また、アルコール類やくん煙式の殺虫剤が高濃度になった場合。
- 調理中の熱がこもった場合。
- エアコン等の空調機器の熱が直接警報器に当たった場合。
- 石油ストーブの点火時、消火時。
- 警報器の電源電圧が通常の電圧範囲外の場合。
通常の電圧範囲はAC100V±10Vです。



■外部機器連動対応表

上段 ○：連動可能
×：連動不可能
△：警報器アダプターが必要

下段 警報音が鳴り始めてから各機器が作動するまでの遅延時間です。
この遅延時間は連動機器によって異なります。

警報の種類 外部出力信号 連動機器 外部出力線	警報時の動作	火災	ガスもれ	CO	備 考
		無電圧a接点 ON 赤・白線	DC12V 白・灰線	DC18V	
戸外ブザー	警報音が鳴ります	×	○	○	ガスもれ、CO警報用
移報ブザー	警報音が鳴ります	○	△	△	火災警報用
マイコンメーター	ガスを止めます	○	△	△	
住宅情報盤	警報表示及び警報音が鳴ります	○	○	○	
集中監視盤	警報表示及び警報音が鳴ります	○※1 ※2	○	○	※1消防用設備等の場合は検定品をお使いください ※2

※2 機器の設定により、遅延時間が異なります。

【ご注意】

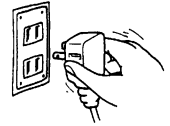
1. ガスもれ、CO警報外部出力（白・灰）は極性がありますので、外部機器と接続される場合はご注意ください。
2. 住宅情報盤及び集中監視盤への接続は、各機器の取扱説明書ならびに設置工事説明書に基づき行ってください。
3. 連動機器では、ガスもれとCOの警報は判別できません。住宅情報盤には判別できるものがあります。
4. 遅延時間は一般的な値です。詳しくは各機器の取扱説明書をご参照ください。
5. 連動機器は専用品をお使いください。（集中監視盤を除く）
6. 外部連動については、販売店またはもよりの東邦ガスにご連絡ください。

■ 16. 警報器のお手入れ方法

⚠ 注意

- 警報器の表面および取付け部付近の壁面が汚れたりしてお手入れをされる場合は、電源プラグをコンセントから必ず抜き取ってください。

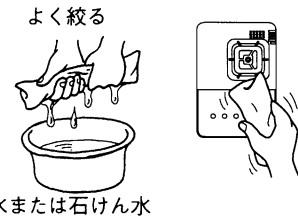
❗ プラグを抜く



お 願 い

- お手入れをされる場合は、布に水または石けん水を浸し、よく絞ってから汚れをふき取ってください。

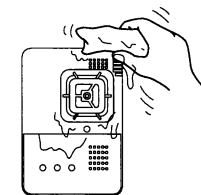
❗ よく絞ってからふく



水または石けん水

- お手入れのとき、警報器の内部に水が浸入しないように注意してください。

⊘ 禁止



- 警報器のお手入れには中性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナーおよびアルコールは使わないでください。
中性洗剤等を使ったときは、警報器本体の表面に傷がついたり、しばらくガスもれ警報ランプ（赤ランプ）が点滅したり、警報音が鳴りやまることがあります。

⊘ 禁止



■ 17. アフターサービス

お 願 い

- この警報器は、5年間の無償保証です。ただし、保証書裏面記載の保証の適用除外の項目に該当する場合はこの限りではありません。保証書をご参照ください。
- この警報器の有効期間は、お取付け後5年間です。
有効期間とは警報器の性能を保証できる期間であり、5年を経過したものは、規定の警報ガス濃度で警報しないなど誤作動の恐れがありますので、ぜひ新しい警報器とお取替えください。
- 保証書に取付け年月日および販売店名の記入のないものは無効となる場合がありますので、お取付け時にご確認ください。
- 保証書は大切に保管してください。
- アフターサービスについて、ご不明の点がありましたら、販売店またはもよりの東邦ガスにご連絡ください。
- 警報器の有効期間を過ぎたときは、販売店またはもよりの東邦ガスへご連絡ください。
- 作動点検をご希望の場合には、有償にて点検いたします。
- 引越の場合
 - ① 引き続き使用する場合は、販売店またはもよりの東邦ガスにご連絡ください。
 - ② 新たに引越してきた人が継続使用する場合は、販売店またはもよりの東邦ガスまでご連絡ください。

■ 18. 仕様

項 目		仕 様
火災警報機能	型 名	複合型火災・都市ガス警報器
	鑑 定 型 式 番 号	鑑ケ第13～18号
	作 動 原 理	定温式（サーミスタによる熱感知方式）
	作 動 温 度	約 65℃
ガスもれ・不完全燃焼警報機能	外 部 出 力 信 号	警報時 a接点 ON 無電圧 接点容量 (DC24V, 0.5A)
	対 象 ガ ス	都市ガス (空気より軽い12A・13Aガス用)
	警 報 ガ ス 濃 度	1 段 目 *爆発下限界濃度の約1/100以上
		2 段 目 爆発下限界濃度の1/4以下
	検 知 方 式	半導体式
	警 報 方 式	1段目 赤ランプ点滅 (自動復帰式)
		2段目 赤ランプ点灯 音声合成音 (自動復帰式)
		音声合成音は切替スイッチにより 音声とブザーの選択ができる
	応 答 速 度	60秒以内
	外 部 出 力 信 号	監視時DC 6V 電源OFF時 0V
		警報時DC 12V 警報時DC 18V
共通仕様	警 報 音 量	70dB以上/m
	電 源	AC 100V 50/60Hz
	消 費 電 力	監視時 約0.6W 警報時 約1.5W
	付 属 回 路	通電初期警報防止用約1分間タイマー付
	使 用 温 度 範 囲	0℃～+40℃（結露しないこと）
	寸 法 ・ 質 量	125×85×43.5mm 約275g
	電 源 コ ー ド	長さ 2.5m（約2.2mはケース背面に巻取可能） 予備コンセント付プラグ （予備コンセントに接続できる電気製品は、990W以下）
	付 属 品	保証書、コード振れ止め（3個）、石膏ボード用ピン 大5、小2 3.1ミリ木ネジ $\ell=10$ （5個）
ケ ー ス 材 質		PC樹脂（自己消火性）ABS樹脂（自己消火性）

★爆発は空気とガスの混合割合が一定範囲で起こる可能性があります。
爆発には濃度範囲があり、最高濃度を爆発上限界、最低濃度を爆発下限界とい
います。

*マイコンメーターと接続して使用する場合は、警報器アダプターが必要になります。

施工される方及び警報器をご使用になる皆様へ

■施工される方へのお願い

⚠ 警告	
1. お客様にこの警報器を安全に正しくご使用いただくために、取扱説明書をよくお読みになり、指定された工事を行ってください。	❗ 必ず行う
2. 工事終了後に、取扱説明書に従って、作動点検を行ってください。 なお、作動不良の場合は交換してください。また外部装置と接続した場合は、外部装置の取扱説明書、設置工事説明書に基づいて作動点検をしてください。	❗ 必ず行う
3. 工事終了後に取扱説明書に従って、次の事項をお客様に説明してください。	❗ 必ず行う
(1) 警報器の内容の説明（警報ランプ点灯と音声合成音）	
① 火災警報	② ガスもれ警報
③ 不完全燃焼警報	④ 火災と不完全燃焼の同時警報
⑤ ガスもれと不完全燃焼の同時警報	⑥ 火災とガスもれと不完全燃焼の同時警報
⑦ 故障表示	⑧ 音声確認ボタンの操作
(2) 警報時のとるべき措置	
① 火災警報時	
② ガスもれ警報時（部屋にいなかった場合を含む）	
③ 不完全燃焼警報時（部屋にいなかった場合を含む）	
④ 火災と不完全燃焼の同時警報時	
⑤ ガスもれと不完全燃焼の同時警報時（部屋にいなかった場合を含む）	
⑥ 火災とガスもれと不完全燃焼の同時警報時	

■19. 設置前のご注意

- 警報器を設置する前に、警報器の種類、型式等が指定を受けたものであることを確認するとともに、設置場所の選定についてはお客様とよく相談して決めてください。

■警報器の確認

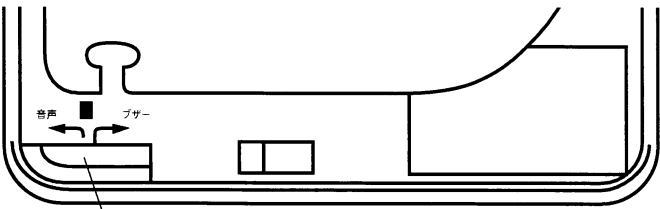
⚠ 注意	
1. 取付ける警報器が空気より軽い12A・13Aガス用（火災検知・不完全燃焼警報機能付）であり、本体、電源コード等に異常のないことを	❗ 必ず行う
2. 警報器には、落下等の強い衝撃を与えないように、取扱いには注意すること。	

■警報器裏面にある切替スイッチの確認

音声／ブザー切替スイッチ

- ・ ガスもれ、不完全燃焼警報及び火災警報時の警報音を音声かブザーに設定するための切替スイッチです。
- ・ 切替スイッチにより、警報音の選択をしてください。スイッチはドライバー等でも切替えは可能です。
- ・ 購入時は音声設定となっています。

※警報音を切替える場合は、警報器の電源を入れない状態で行ってください。



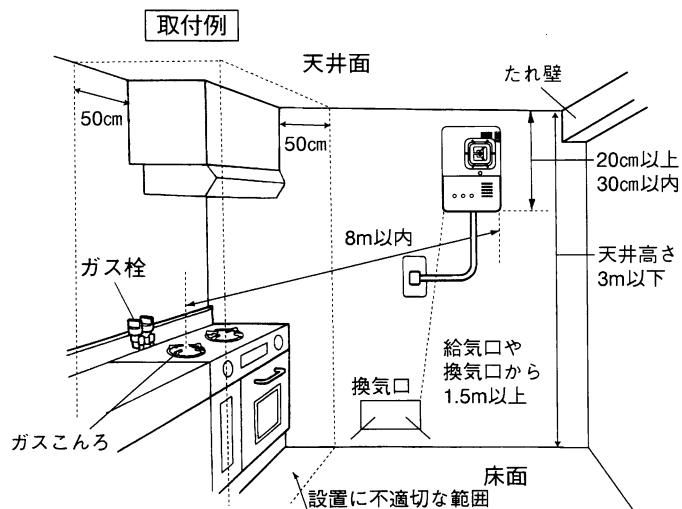
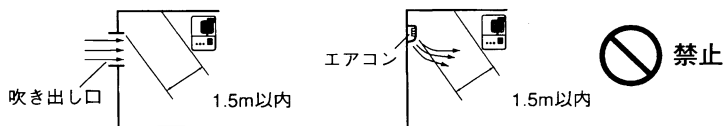
音声／ブザー切替スイッチ

■20. 取付け位置の確認

- 取付け位置を決めるときには、次のことをよく確認してください。

⚠ 注意

1. ガスもれ、不完全燃焼を検知しようとするガス機器を設置している場所と同一の室内に設置すること。 **❗ 必ず行う**
2. もれたガスや不完全燃焼ガスが滞留しやすい位置で、電源ランプの確認しやすい位置、容易に点検できる場所へ取付けること。 **❗ 必ず行う**
3. ガスもれ、不完全燃焼を検知しようとするガス機器（一定位置に固定しないで使用されるガス機器の場合は、ガス栓）から水平距離8m以内、天井面から30cm以内とすること。 **❗ 必ず行う**
4. 天井面に接近して取付けると、天井面が黒ずむ場合があるので、警報器の底面から天井面までの距離が20cm以上～30cm以内になるように取付けること。 **❗ 必ず行う**
5. アルコール等で警報することがあるので、レンジフード内やレンジフード本体には取付けないこと。 **🚫 禁止**
6. 換気口等の空気の吹き出し口から1.5m以内には取付けないこと。 **🚫 禁止**



床面積は概ね30㎡以下（部屋が正方形なら対角線は約7.7m以下）
※取付けおよび取付け位置の移動は販売店またはもよりの東邦ガスにおまかせください。

⚠ 注意

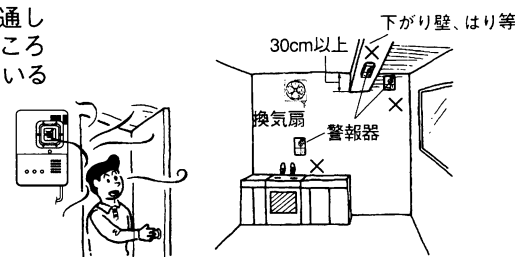
次のような取付け方をされていますと、警報の遅れや誤報、故障などの原因になることがあります。

- 換気扇、給気口、ドア付近など風通しのよいところ、すきま風の入るところ
- 30cm以上の下がり壁で区切られているところ
- エアコン等の吹き出し口の近く



禁止

警報が遅れたり
検知できないこ
とがあります。



- 燃焼器具などの排気、湯気、油煙など及び調理用アルコール蒸気が直接かかる場所



禁止

センサ寿命が短
くなったり、誤
報の原因になり
ます。

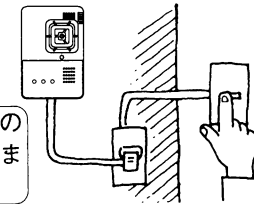


- 使用時しか電源を入れないところ（ビルなどの給湯室で、夜間電源を切るところ）



禁止

警報器としての
機能を果たし
ません。

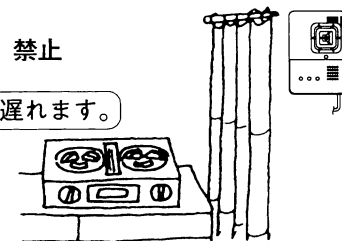


- カーテンウォールなどで仕切られるところ



禁止

警報が遅れます。

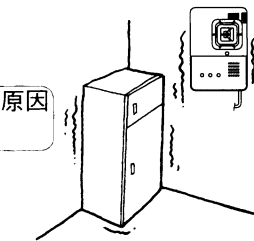


- 振動、衝撃の激しいところ



禁止

センサ故障の原因
になります。

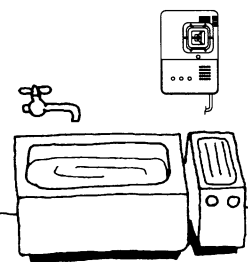


- 浴室や水のかかる場所や水滴のつくところ



禁止

感電や電氣的
故障の原因に
なります。

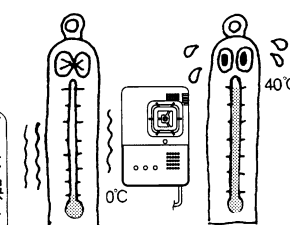


- 温度が0℃～+40℃の範囲をこえるところ



禁止

警報器としての
機能を果た
しません。誤
動作の原因に
なります。



- 屋外



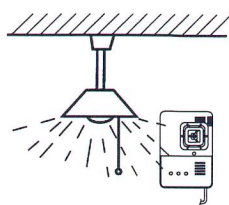
禁止

屋外用ではありません。

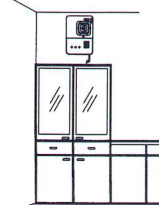
⚠ 注意

次のような取付け方をされていますと、警報の遅れや誤報、故障などの原因になることがあります。

- 照明器具等が発生する熱の影響を受けるところ



- 食器棚などの上部



■ 21. 取付方法

お 願 い

1. 付属品の確認

部品イラストや写真、図などを用いて、付属品名、個数、用途などを確認すること。

取付金具及びコネクタ式ハーネスは、取付キット中にあります。

■ 付属品

コード振れ止め 木ネジ長さ10mm



小 10mm 2本
大 25mm 5本
石こうボード用ピン

2. 取付位置の確認

- (1) 取付位置の壁面の材質、強度を確認し、土壁、強度の弱い合板等には取付けないこと。
- (2) 壁がコンクリートの場合は、振動ドリルでドリリングのうえ、カールプラグ(市販品)を打ち込み、木ねじを使用すること。
- (3) 壁が石こうボードの場合は、次項を参照して石こうボード用ピンを使用すること。

3. 取付金具の取付け

- (1) 取付金具は、垂直に取付けること。
- (2) 取付金具の取付けには、金具の上下に注意すること。

- 取付金具を両面テープのみで固定しないでください。警報器が落下するおそれがあります。



4. 警報器の取付け

- (1) 警報音は、音声又はブザーの選択ができます。警報器裏面のスイッチにより、警報音の選択をしてください。(初期設定は音声になっています)

- (2) 警報器の取付け時には、警報器を落とさないよう注意すること。

センサの断線等で正常に作動しないおそれがあります。

- (3) 火災感知部のガードの中にある火災センサに触れないよう取付けること。

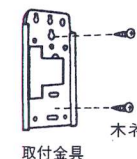
センサ破壊等で正常に作動しないおそれがあります。

■ 取付キット

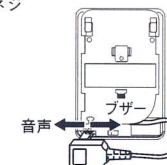
取付金具



コネクタ式ハーネス



取付金具



(ドライバー等でも切替えは可能です。)

※取付板を石こうボードに取り付ける場合は以下を参照してください。



注意

- ❗ ・ピンを指に刺さないよう取扱には十分注意願います。
- ❗ ・取付強度保持のため、ピンは根元まで差し込んでください。また必要な角度を十分つけてください。
- ❗ ・万一ピンがゆるんだ場合には、取付位置を少しずらしてピンを取り付け直してください。

1. 付属品の確認

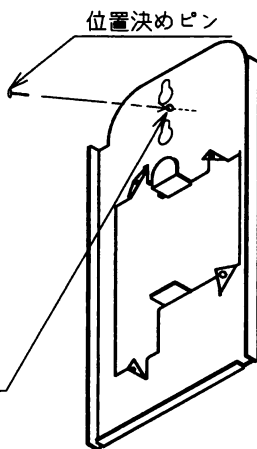
以下の付属品を確認してください。

位置決めピン（長さ10mm） 1本＋予備1本
固定用ピン（長さ25mm） 4本＋予備1本

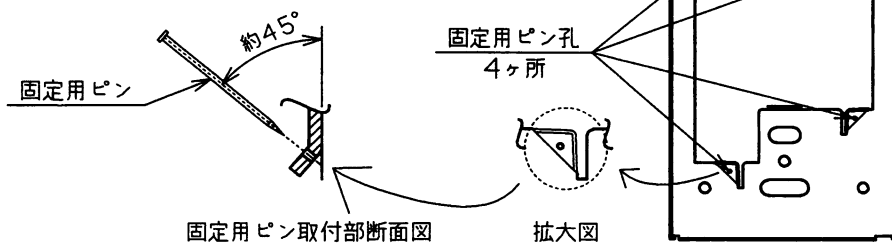
2. 取付手順

- (1) 位置決めピンを取付板中央部の孔に通し、壁面に垂直にピンを差し込んで仮止めします。ピンを根元に差し込む場合は、仮止めされたピンの頭をドライバーの背面など堅いもので押しつけてください。

位置決めピン用孔
直径1.4mm



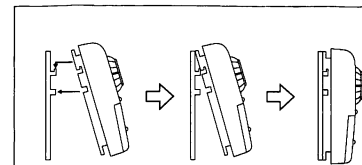
- (2) 固定用ピンを取付板4ヶ所にある斜めの孔に通し、取付板を壁面に密着させた状態で、壁面に斜め約45度でピンを差し込んで固定します。ピンを根元に差し込む場合は、仮止めされたピンの頭をドライバーの背面など堅いもので押しつけてください。



お願い

- (4) 警報器の落下防止のため、取付金具のフックに、警報器裏面にある引っ掛け穴を引っ掛けて、さらに下部の固定凸部に警報器を押しつけて固定すること。

警報器が確実に固定されているかどうかを確認する。



△ 注意

5. 配線方法

- (1) 電気設備技術基準および内線規定により、電源コードは、ステップルや釘等で固定しないこと。
(2) 電線の上に重いものを置かないこと。

■電気設備技術基準および内線規定により、電源コードはステップルや釘等で固定できません。



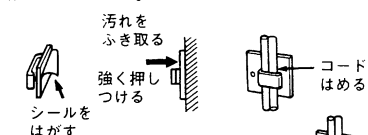
禁止



お願い

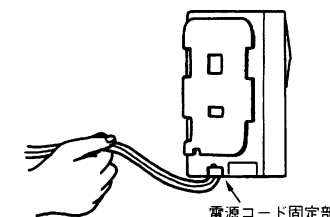
- (3) 電源コードは、付属のコード振れ止めで固定すること。なお、コード振れ止めが接着だけでは付かない場合は、木ねじで止めること。

- 電源コードは付属のコード振れ止めで固定すること。



コード振れ止めが接着だけでは付かない場合、木ねじで止めること。

- (4) 電源コードは、コンセントまでの長さにあわせて取出し、電源コード固定部に固定すること。



- (5) 外部装置との接続方法

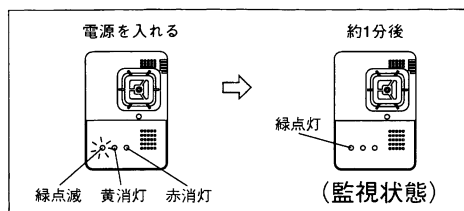
外部装置と接続する場合は、外部装置の取扱説明書ならびに設置工事説明書に従って工事を実施する。

■ 22. 作動点検

● 次の順序で動作を点検してください。

1. ガス警報器の電源プラグをコンセントに差し込みます。電源ランプ(緑)が点滅し、約1分後に点滅から点灯にかわり、警報器が監視状態に入ります。(約1分後に赤ランプが点滅している場合がありますが、しばらくすると消灯します。)

※ ガスセンサが断線すると、緑ランプが早い周期の点滅になります。



○ 不完全燃焼警報点検の場合 (警報器が監視状態に入っていることを確認してください。)

2. CO点検用採取容器(別売品)と、別にライター、テーブルコンロなど炎からガス採取できるものを用意します。

(1) ライターを点火し炎の高さは、4cm位になるよう調整します。(炎が小さいとガスを採取しにくくなります。)

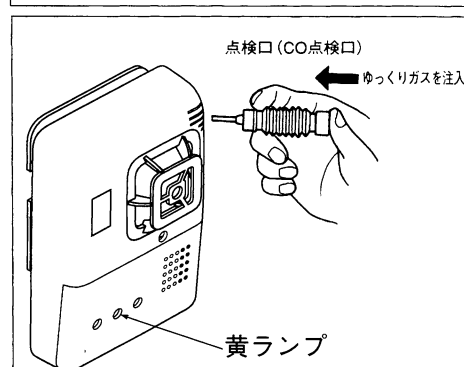
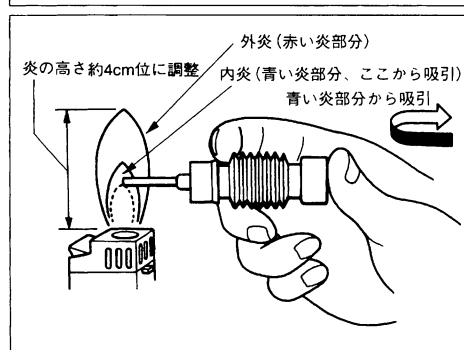
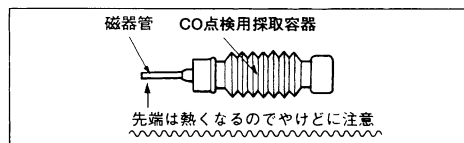
(2) CO点検用採取容器を圧縮して、炎の内炎部分(炎の青色部分)の上端近くへ、容器の先の磁器管の先端を持っていきます。

(3) 容器のジャバラ部分をゆっくり戻し、炎の中からガス成分を吸引します。炎の中に磁器管を入れ、ガスを採取するのは約2秒以内で行ってください。

(4) 磁器管の先端部分の温度が下がるまで、しばらく(約20秒程度)待ちます。

(磁器管の先端部分は熱くなっており、冷まらずに警報器に押しあてて点検すると、警報器のケースを溶かしたり、傷がついたりします。必ず約20秒間以上冷ましてから点検してください。)

(5) 磁器管の先端を警報器のガス検知部から約1mm程度離して、容器のジャバラ部分を圧縮し、採取したガスをゆっくり注入します。



⚠ 注意

炎から出した直後の磁器管の先端は非常に熱くなっています。やけどをしないよう、ご注意ください。

⚠ 警告

採取したガスは作動点検以外には使用しないでください。

禁止

(6) ガスを注入してから約20~40秒後に次のような警報を行います。

- ・ COガスの濃度が低ければ、黄ランプが点滅(緑ランプは点灯)します。(低濃度警報)
- ・ COガスの濃度が高ければ、黄ランプが点灯(緑ランプは点灯)し、警報音(「ビッポッビッポッ 空気が汚れて危険です 窓をあけて換気してください」)が鳴ります。(高濃度警報)

※ 切替スイッチにより、ブザー設定にした場合(ビッポッビッポッ)のみの警報が鳴ります。

もし、上記の作業を行い、監視状態から約1分たっても上記の警報がない場合は、もう一度同様の手順でガスを注入してください。

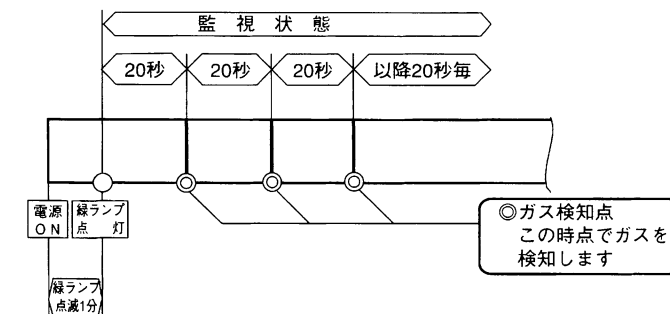
※ 電源を入れてから約25分間は、点検を容易に行う為に、高濃度警報は即時(3分の遅延無し)となります。

※ 低濃度警報(黄ランプ点滅)の状態のまま、約13分経過した場合にも警報音が鳴ります。

※ 点検作業中、赤ランプが点滅することがありますが、正常ですので作業を続けてください。

※ COガスの濃度が高すぎる場合電源灯(緑)が早く点滅する場合がありますが、正常ですので作業を続けてください。

||||| <検知タイミング> |||||



※ COガスの検知は約20秒毎になっています。

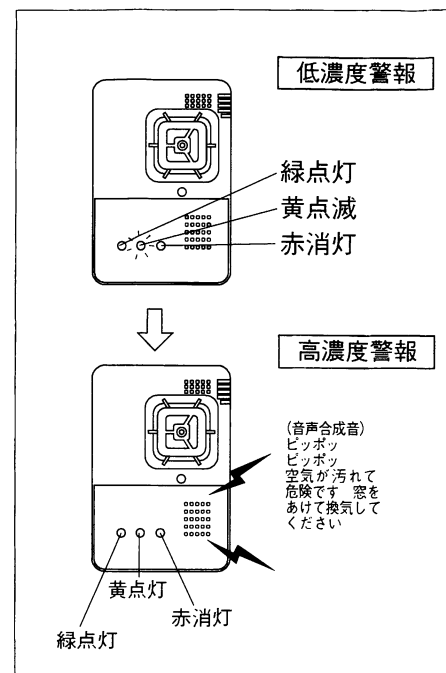
ガス注入のタイミングがずれたり、あるいは注入したガスがうすまった場合、高濃度警報にいたらないことがあります。

※ 連続して長時間COガスを注入しますと、警報音がなかなか鳴りやまない場合があります。

3. ガスが無くなると、黄ランプが消灯します。

お願い

従来のアルコールを主成分とした点検ガス及びライター式の点検ガスでは点検できません。必ずCO点検用採取容器を使用し、点検してください。



○ 火災警報点検の場合

4. ヘアドライヤーを用意します。必要に応じて延長コードも用意してください。

(1) ヘアドライヤーを火災検知部に垂直に当てます。

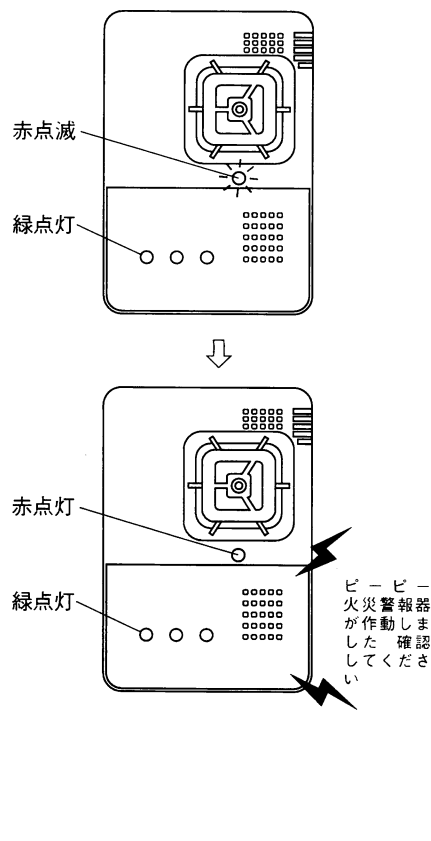
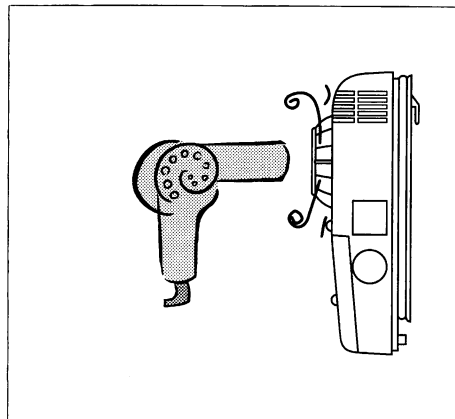
(2) ドライヤーの電源スイッチをONし、熱風を吹きかけます。

- 赤ランプが点滅（緑ランプは点灯）します。（警報遅延）

- 赤ランプが点滅後、点灯に変わり（緑ランプは点灯）警報音（「ピーピー火災警報器が作動しました確認してください」）が鳴ります。

※ 切替スイッチにより、ブザー設定にした場合（ピーピー）のみの警報が鳴ります。

5. 火災感知部周囲の温度が下がると赤ランプが消灯します。



⚠ 注意

ドライヤーを離れた直後、警報器は熱くなっています。
やけどをしないようご注意ください。

ライター等の直火で加熱試験は、行わないでください。
機器破損の原因となります。

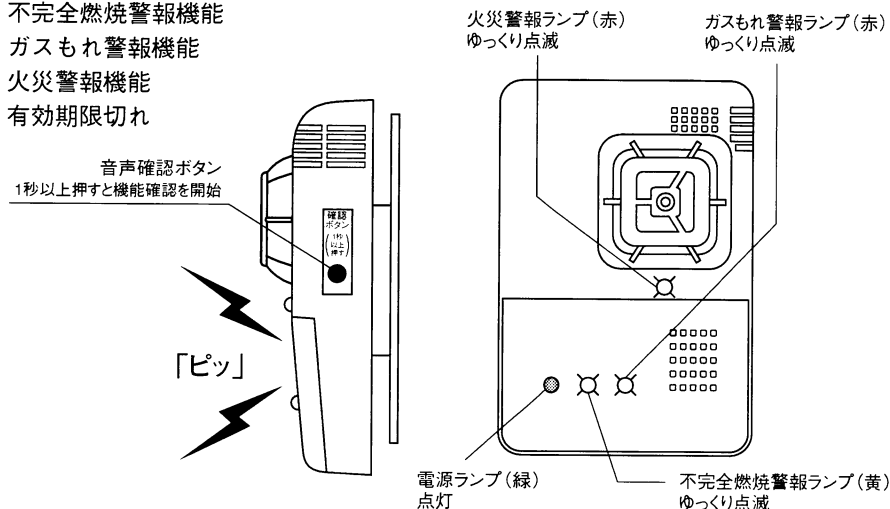


○ 音声確認ボタンによる動作点検の場合

※本警報器は通常監視中にも自動的に機能確認を行っています。機能に異常がある場合には、緑ランプが早く点滅してお知らせします。また、音声確認ボタンの操作により次のような動作点検ができます。

6. 警報器が正常に機能している場合には、音声確認ボタンを1秒以上押すことにより「ピッ」音が鳴動し、以下の機能確認動作を行います。

- ・ 不完全燃焼警報機能
- ・ ガスもれ警報機能
- ・ 火災警報機能
- ・ 有効期限切れ

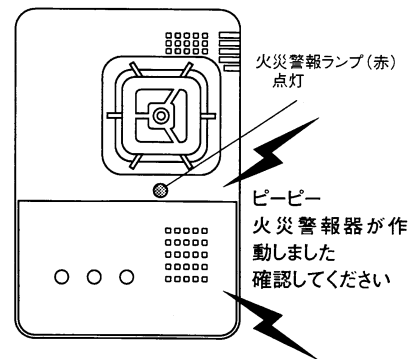


※確認動作中は、不完全燃焼ランプ、ガスもれ警報ランプ、火災警報ランプがゆっくり点滅します。
電源ランプは点灯のままです。

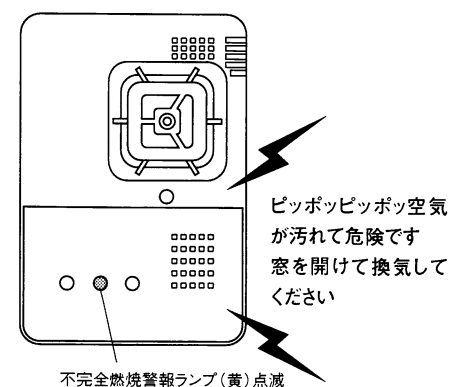
※各警報ランプの点滅は、確認動作終了まで持続します。

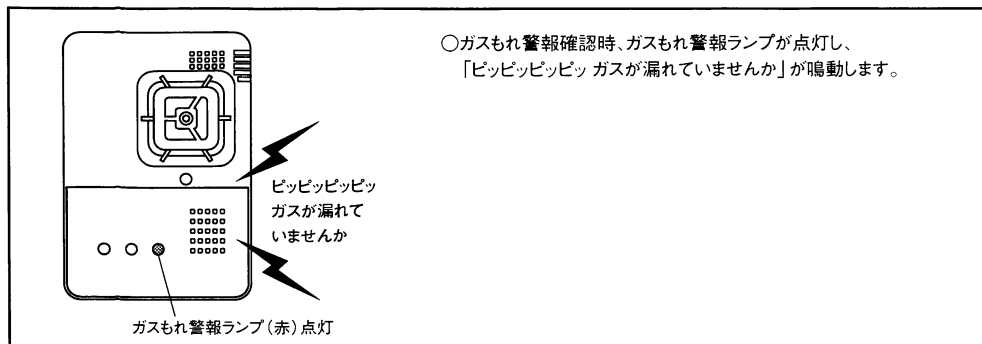
※音声確認ボタンによる動作点検の場合、ガスもれCO警報外部出力および火災警報出力は出力されません。

○火災警報確認時、火災警報ランプが点灯し、「ピーピー火災警報器が作動しました確認してください」が鳴動します。



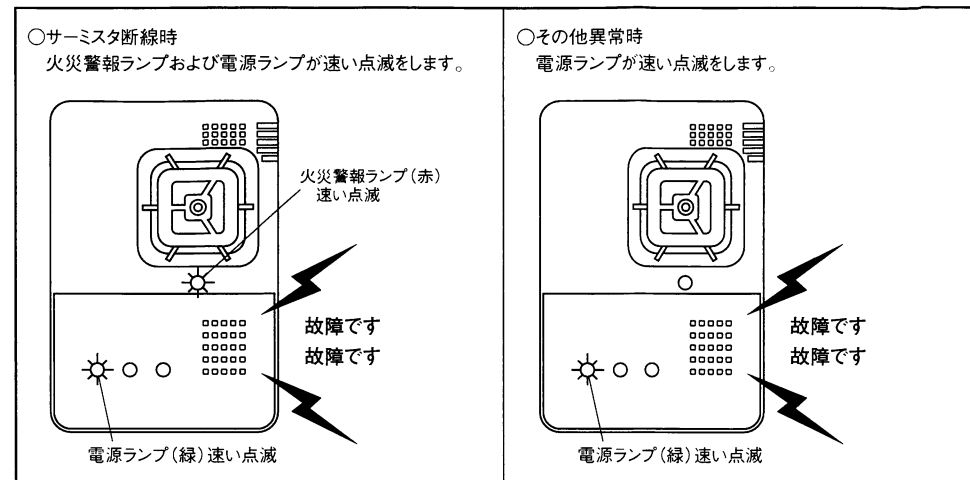
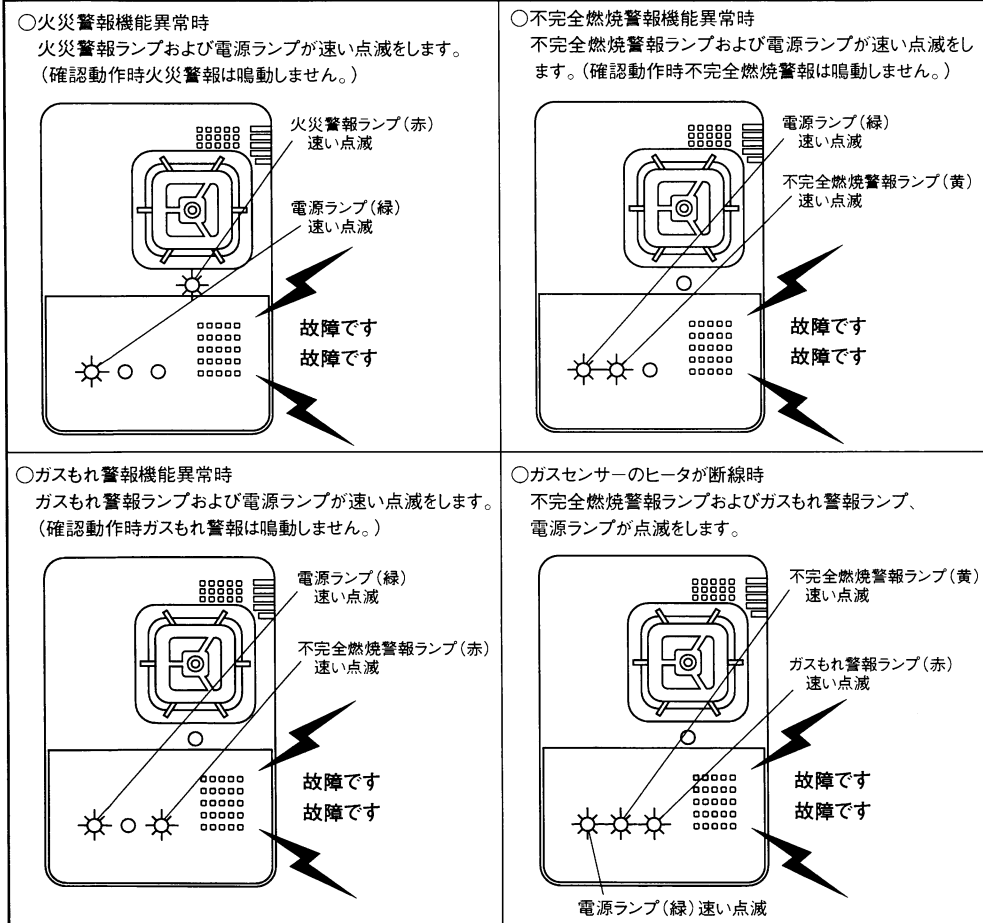
○不完全燃焼警報確認時、不完全燃焼警報ランプが点灯し、「ピッピッピッピッ 空気が汚れて危険です窓を開けて換気してください」が鳴動します。





※切り替えスイッチによりブザー音設定した場合、音声確認ボタンによる機能確認時には「ピーピー」、「ビッポッビッポッ」、「ビッビッビッ」等のブザー音のみで機能確認動作を行います。

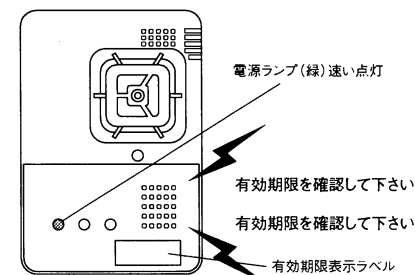
7. 機能に異常がある場合には、機能確認動作後に「故障です故障です」が鳴動し、以下の故障表示をします。
(ガスセンサヒータとサーミスタ断線および確認動作による故障表示は、電源をOFFするまで保持されます。
それ以外の故障表示は自己復旧します。)



お願い

「音声確認ボタン」の操作により「故障です」のメッセージが鳴動した場合、販売店またはもよりの東邦ガスにご連絡ください。

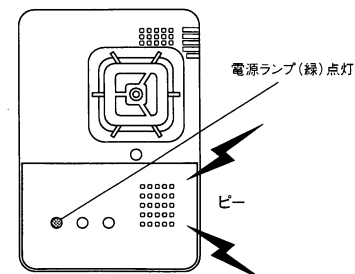
8. 有効期限が近づいているか、切れているときに、音声確認ボタンを操作すると、確認動作後に「有効期限を確認して下さい 有効期限を確認して下さい」が鳴動し、電源ランプが速い点滅をします。



お願い

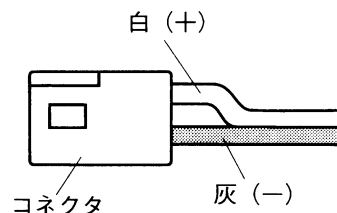
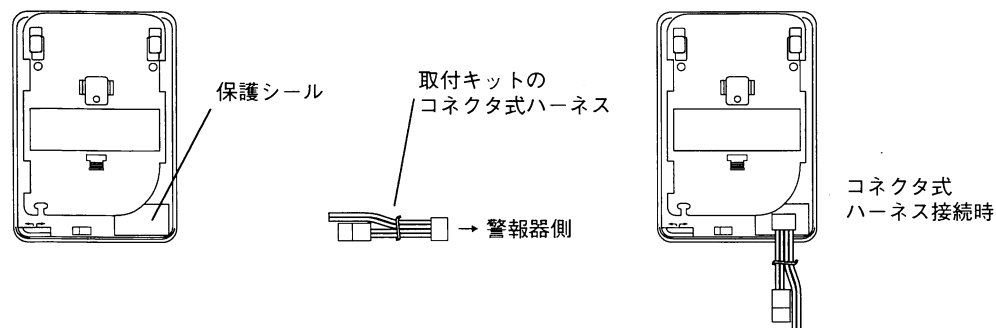
「有効期限を確認してください」のメッセージが鳴動した場合本体下側の有効期限表示ラベルをご確認の上、販売店またはもよりの東邦ガスまでご連絡いただき、早めに交換をお願いします。

9. 音声確認ボタン動作正常終了時
電源ランプ以外の警報ランプは消灯し、「ピー」音が鳴動し確認動作を終了します。



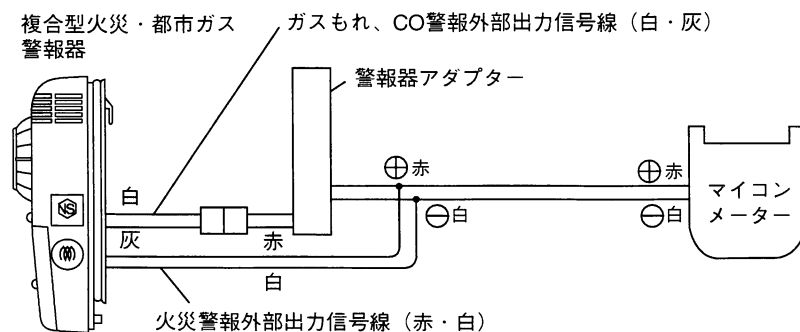
■外部装置と接続する場合の注意点及び点検方法

- 外部装置と接続する場合は警報器裏側の保護シールをはがし、取付キットのコネクタ式ハーネスを接続してください。取付の方向があるので注意してください。
- 外部装置と接続した場合は、外部装置の取扱説明書ならびに設置工事説明書に基づいて作動点検を実施してください。
- ガスもれ、CO警報外部出力（コネクタ）は有電圧出力ですので、外部装置と接続する場合は注意してください。



- 火災警報外部出力（リード線・赤白）はa接点無電圧出力ですので、外部装置を接続する場合は注意してください。
負荷に発生するスパイク電圧は接点容量の定格以下でご使用ください。
接点容量：DC24V, 0.5A

● マイコンメーターとの連動方法



■ お客様へのご説明内容

1. 警報点検結果の説明。
2. 取扱説明書を必ず読んでいただくことと、保証書・取扱説明書の保管のお願い。
3. 取扱説明書に基づく主要な機能の説明と確認。
 - (1) 火災警報の内容（赤ランプ点滅・点灯、音声合成音の確認）と警報時のとるべき措置の説明。
 - (2) ガスもれ警報の内容（赤ランプ点滅・点灯、音声合成音の確認）と警報時のとるべき措置の説明。
 - (3) 火災、不完全燃焼の同時警報と警報時のとるべき措置の説明。
 - (4) 不完全燃焼警報の内容（黄ランプ点滅・点灯、音声合成音の確認）と警報時のとるべき措置の説明。
 - (5) ガスもれ、不完全燃焼の同時警報と警報時のとるべき措置の説明。
 - (6) 火災、ガスもれ、不完全燃焼の同時警報と警報時のとるべき措置の説明。
 - (7) 部屋にいない場合に警報が鳴ったときのとるべき措置について。
（ガスもれ、不完全燃焼警報時）
 - (8) 予備コンセントの容量上限値について。
 - (9) 誤報が発生する場合。
 - (10) 電源ランプ（緑ランプ）が点滅している場合のとるべき措置について。
 - (11) 音声確認ボタンの操作と故障または有効期限メッセージが鳴ったときのとるべき措置について。

■ お客様への周知事項

お 願 い

- お客様に次の事項をご説明のうえ、ご理解を得てください。
 1. 保証期間5年。
 2. 警報器の有効期間を知らせる。（本体に表示）
 3. 保証書を必ず読んで内容を理解した上で取扱うこと。
 4. 警報器の移設禁止。（移設依頼の連絡先）
 5. 警報器の分解禁止。
 6. 引越時の措置。

